

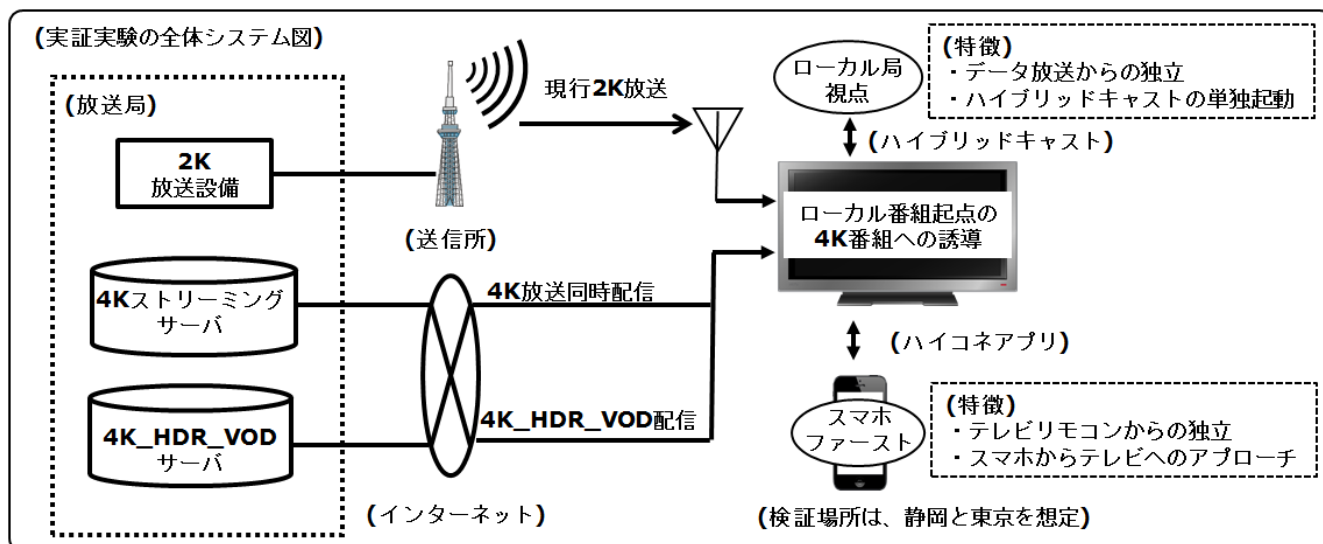


～ブロードバンドを活用した地域放送サービスの展開方策～
**「ハイコネで実現する スマホファーストとローカル局
 視点での4K配信の検証実験」を実施しました**

株式会社 TBS テレビは、3月2日と3月10日に静岡放送株式会社(SBS)、株式会社 ACCESS、株式会社ベクテの3社と共同で、「ハイコネで実現するスマホファーストとローカル局視点での4K配信の検証実験」を行いました。この検証実験は、総務省が公募した「ブロードバンドを活用した地域放送サービスの展開方策に係る事業企画」に採用され、行ったものです。

多くの放送事業者では、現行の2K番組の放送と同時に、ブロードバンドを活用して4Kで番組を配信するなど、放送と通信による同時配信への取り組みが始まっています。しかし、情報通信審議会が2018年8月23日の最終答申で指摘したように、人材や経営面で制約の多いローカル局が4K同時配信に独自に取り組むことは困難という課題があります。今回の検証実験は、この課題を解決して、ローカル局が4K同時配信に取り組みやすい環境を構築することを目的としています。

テレビ端末で4K配信動画の視聴に誘導するには、テレビ放送とネットコンテンツを連携させる次世代放送サービス「ハイブリッドキャスト」が有用です。しかし、現行の仕様では、その起動にデータ放送の機能を用いるため、データ放送を主体的に送出できないローカル局にとっては、ハイブリッドキャストを運用することが困難となっています。このため、TBSはSBS他と共同で、アプリ(「ハイコネ」)を搭載したスマホから、データ放送の機能を使わずに、直接ハイブリッドキャストを起動して4K配信動画へ誘導する方策を提案し、今回その実験と検証を行いました。



3月2日にはTBS社内で、SNS等の通知を発信し、それを受けてスマホからテレビを起動し、VOD(ビデオ・オン・デマンド)による4K動画視聴へ誘導する方策について実験を行いました。次に、3月10日にはSBS社内で、ローカル番組の開始をお知らせする通知を発信し、それを受けてスマホからテレビを起動し、2K放送番組から、4K放送同時配信動画視聴へ誘導する実験を行い、効果や課題を検証しました。

それぞれの検証では、スマホをリモコンの代わりにして、直接、テレビを操作できる感覚に概ね高い評価が得られました。また、ブロードバンドを通じた配信では、現在のところ、緊急地震速報等をリアルタイムで表示することはできません。今回の検証実験では、災害時には、配信動画から自動的に放送に引き戻し、緊急地震速報等を報ずる方策を確認し、こちらも、高い評価が得られました。



3月2日の検証の様子(於 TBS)
スマホをリモコンの代わりにして操作



3月10日の検証の様子(於 SBS)
左画面:4K 同時配信 右画面:2K 放送

【ハイブリッドキャスト／ハイコネとは】

「ハイブリッドキャスト」は、放送波の中にインターネット上のコンテンツの取得を指示する制御信号を組込み、テレビ放送と Web コンテンツとを連携させる次世代放送サービスです。

近年発売されているテレビでハイブリッドキャストの機能を搭載している機種は、テレビとスマホ等のモバイル端末とを連携するアプリが用意されていますが、メーカー毎にアプリが異なっています。それをメーカー横断の形で統一し、さらにスマホ起点でテレビをコントロールできるようにしたアプリが「ハイコネ」です。

ハイブリッドキャスト は日本放送協会の登録商標です。ハイコネは一般社団法人 IPTV フォーラムの登録商標です。

本件へのお問合せは、☎03-3746-1111(代) TBS テレビ・メディア企画室 高林まで